

Handsome

発行人 鳥取県西部中小企業青年中央会 会長 松本 啓 編集責任者 柴谷 政司 印刷所 東京印刷(株)

平成8年度

鳥取県中小企業青年中央会経営研修会開催

11月11日(月)倉吉シティーホテルに於いて、平成8年度鳥取県中小企業青年中央会経営研修会が140名余りの参加で開催された。

開会宣言のあと森県会長の挨拶があり、先月行かれた山形での全国大会の話などがあり、引き続き本日の経営研修会の演題、アジアは燃えている—日本は何をすべきか—を国際技術コンサルタント・技術士前田哲男先生に講演していただいた。

まず最初に日本の現状について話され、今大変な就職難の時代であり、犯罪のない国と言われていた日本にも急増しつつあり特に若者は、就職がないお金がないなどが原因で、人間自身が追い込まれ犯罪に走る傾向がある。

40代の一流企業の一流大出身の社員がリストラの対象になり生き残れるのは1/100ぐらいときびしくなっている。60代にいたっては定年退職後の再就職率は1~2%と働きたくても就職先がないのが現状である。

原因としては製造業がどんどん海外に生産地を移した為に円高など問題があり不況の原因になっている。

アジアは今何がおこっているか

シンガポールでは企業誘致の為にプロモーションビデオを作り国外に工場の誘致をおこなっている。日本の会社も息詰まっていますシンガポールに本社を移転する会社が増えている。インドネシアバタム島40社の半数が日系企業があり、工業団地の売り物工場はシンガポールが用意をしている。企業誘致は国を上げて行っているため、細かいところの処理を全面的に行ってくれる。

その為第3次産業が東京からシンガポールに移っていて、製造業のGNPは上がっている。21世紀になっても半導体など付加価値の高い物がある為製造業は伸びていき、日本にはない製造業種をシンガポールは目指している。

インドはコンピューターのソフトウェア産業が発展していてアメリカの情報交換をしつつインドとアメリカは昼と夜が逆



転、アメリカが眠っている間に通信回線を使って世界No.1の出荷額になっている。

アメリカと衛星回線を利用し今までアメリカまで行かないと使用できなかった大型コンピューターがインドに居ながら使用できるようになり、インドの123社もの会社で使用しておりCD技術などの発展につながっている。しかし、インドでは電力の需要と供給のバランスが悪く、電話を設置するにもかなり待たないと

設置できない状態で、昼間の停電や交通や通信、電力など経済基盤も追いつかない状態である。

これから日本は何をすべきか

日本企業は安い賃金を求めて海外に進出はするが、現地の人を幹部に登用しない会社がほとんどで、国際的には考えられない状態を作ってしまった日本に空洞化がおこる状況を作ってしまった今、海外だけに目を向けず日本に地域密着型のミニFM型など文化活動などに力をいれたりバイオ技術の開発をすることも必要と持論も話され、これからは心の豊かなそして人の為に役立つ人を育てるのも日本には必要と話された。

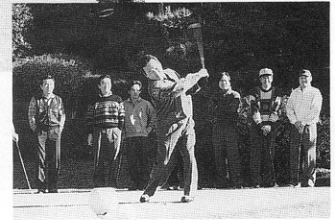
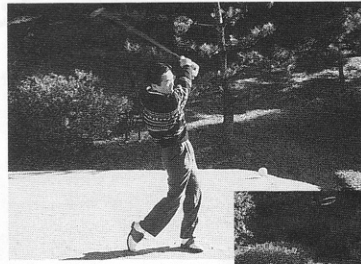
講演終了後懇親会が行われ各地区の交流も有意義に行われ実りのある一日であった。



県青中親睦ゴルフコンペ開催

草刈りだとか、球転がしなどといった俗名を持つゴルフ、去る11月20日恒例の東中西ゴルフコンペが三朝カントリー倶楽部にて行われた。今回はスコアメイクの堀〇氏、ダブルペリアのスペシャリスト宮〇氏といった、コンペには欠かせない面々が、昨年度ご卒業なさった為かなりの苦戦が予想された。

天候は快晴、微風、道具も良好、残るは己の腕前と運さえ良ければ好スコアが期待できるものと誰もがスタート前は思っていたはずである。しかしながら、あちらこちらで聞こえる落胆のおたけび、木々にこだまするボールの当たる音、空しく聞こえる“お客さんもう一発”の声、西部の面々の顔色が悪い。ホールアウト後はやけ酒をあおる者、“私、新会社を設立したけん、名前は角〇ゴルフ損害保険っていうに”と千円札を持ってうろつく者などお世辞にも上品とは言い難い状況である。しかしながら地に落ちたかに見えた我西部は結果発表の時には完全に息を吹き返すのであった。OBからの無言の教えを脈々と受け継ぎ、阿部直前会長の個人優勝を筆頭に、ベスグロ金田会員、更にニヤビン、ドラコンと商品泥棒と陰口をたたかれはしないかと心配されるほどであった。結局ベストテンに5人入り他を大きく引き離しての総合優勝を勝ち得た。転んでもタダでは起きぬ西部をしっかりとアピールした結果となったが、その内容はスコットランドの羊飼達が始めたと言われるゴルフの、まさに原形を見るようであったのは否めなかった。



ダブルペリア

			アウト	イン	グロス
総合優勝	西部青年中央会	個人優勝	阿部信行 (西部)	45	46 94
2位	東部青年中央会	2位	磯江公博 (東部)	43	46 89
3位	中部青年中央会	3位	金田孝成 (西部)	42	42 84
		ベスグロ	金田孝成 (西部)	42	42 84

11・月・例・会・報・告

11月15日(金)平安閣にて11月例会が開催された。松本会長の挨拶の後、加藤新入会員のバッチ授与式、入会にあたっての抱負などの後講演へと進んだ。

今月は養寿会理事の船越元熙氏を講師に迎え、「将来の品質管理システムHACCP食中毒と予防」というテーマでお話を戴いた。

今年ではO157食中毒が世間を騒がせたが、事後の対応の甘さを指摘された。

今回のO157については学校給食は厚生省の管轄ではなく、文部省になる。しかし官公庁は原因追求ばかりで対策を立てない。その上責任の所在を転嫁ばかりしていると指摘された。

将来的には日本もアメリカの様に即裁判ということになる。そのためのリスクマネジメントが大切であるということに仰せられた。恐らく来年以降はO157も刑事事件として取り扱われるだろうとのことであった。

もう一つは、ものの考え方として英語的発想が大切である。原料から製造工程まで99.999% (ほぼ100%) 統一すれば完成品の商品チェックはいらない。WHOが食品衛生の貿易の規準作りを呼びかけた。現在のJIS規格などは日本のみの規格であり、世界には通用しない。そこで欧米で生まれたHACCP (ハセップ) が導入されると、HACCP導入の経緯を事例を踏まえながらお話された。

それから日本の老人の入院期間は外国の約3倍であり、毎月1人90万円の税金を使って入院している。病院が老人病院化していると問題提起された。その上で今、福祉が伸びてい

る。共働きになり、母親が転勤するようになればだれが子供と老人を見るのか。そんな意味でもこれからは福祉の食事は伸びると思うとお話された。面白いと思ったのは商売は登山隊と同じで野心と夢がないと出来ない。処女峰に登るときはまず資料集め(マーケティング)、ルート決定(目標設定)、登山許可(営業許可)等等商売と同じ手順で進んでゆくと説明された。中でも大変なのが資金集めで自分のビジョンを相手にどう伝えるか、形が無いものを説明しなくてはならない。お金を出して貰うことで夢が共有できると説明すると言われた。お話の最後に目標が強固であればチームワークは出来る。お遊びクラブでは結束は出来ない。強固な求心力を持った、共有できる目標が必要であると話された。



11月度委員会報告

政治行政委員会

平成8年11月5日(火) 於：ラウンジ「馬亭」 出席者/9名
講師/県議会議員 石黒豊氏

- 内容/1. 地域ビジョン委員会・日次委員長より本会の始めに来年の「夢みなと博」への協力要請があった。
2. 講師に石黒OBに出席して戴き、「FAZ」及び「夢みなと博」に対し会員及び地域住民がもっと積極的にこのイベントを盛り上げ、自分達の為にももっと活用して良いのではないかと提案ご意見を伺った。
尚、経営委員会との合同委員会であった。

地域ビジョン委員会

平成8年11月19日(火) 於：中海テレビ放送 出席者/11名
講師/中海テレビ放送 常務取締役 高橋孝之氏

演題/「テレビが変わる、生活が変わる。」
内容/CS放送によるTVの多チャンネル化の中でのCATVの存在意義、生き残り策等をまじえ、マルチメディア時代の我々の生活変化について講演していただいた。又、スタジオ内で実際にカメラに触れ、思いのほか操作が簡単であることがわかった。

前月の情報メディア委員会でも提案されていたが、「コミュニティチャンネル」の中で青年中央会の情報発信の場をもつことを真剣に討議してみてもどうか?

経済委員会

平成8年11月6日(水) 於：米子食品会館 出席者/8名
内容/1. 役員会報告

2. 忘年例会打合せ(広報と同時開催)

経営委員会

平成8年11月5日(火) 於：ラウンジ「馬亭」 出席者/7名
講師/県議会議員 石黒豊氏

内容/石黒豊県議(OB)を講師に迎え、「FAZと環日本海時代を考える」と題して講演を拝聴し、後、質疑応答を行う。

FAZ指定までの経過と山陰・夢みなと博覧会を中海圏の今後の発展に向けてどう結びつけてゆくべきか、示唆に富んだ内容であった。

尚、政治行政委員会との合同委員会であった。

情報メディア委員会

平成8年11月8日(金) 於：米子食品会館 出席者/9名
講師/日本海新聞西部本社 編集局長 尾崎輝雄氏

- 内容/1. 11月担当例会の打ち合わせ
2. 講演

「日本海新聞」は、県内において「10件に8件」という全国第2位の驚異的普及率を誇るまでに成長しているが、実は大手の「価格破壊」という攻撃の波が押し寄せてきているという。日本海新聞社を取り巻く環境は依然きびしいが、「3本社、2ヶ所印

刷、そして地域との密着を図りながら、少しでも多くの方々へ、より早く新聞を届けたい」という信念の元に、「これからも月1,800円の新聞代を継続させる!」と明言された。

指導能力開発委員会

平成8年11月14日(木) 於：料亭「幾多」 出席者/10名
講師/千代むすび酒造 専務 岡空晴夫氏

内容/境港の老舗、千代むすび酒造の専務であり、地ビール新会社の社長でもある当会OB岡空晴夫氏を講師にまねき「後継者の新しいチャレンジ」というテーマにて語っていただいた。

実際に全国の地ビール数種をわざわざ取り寄せていただき、試飲しながらうんちくを語った。

夢みなと地ビールにかけた思いと地酒との共存、後継者のチャレンジとそれともなうリスク。

誰もが思う希望と不安を苦みのある液体とともに我々の体の中に流し込んでいただけたと感じています。

ほろ酔いぎみの岡空OBが「新しいことをやろうと言うと先代はかならず最初は反対するものですよ」と言われた言葉が印象的でした。

社会・文化委員会

平成8年11月18日(月) 於：米子国際ホテル 出席者12名
講師/米子ビブレ 店長 山内氏

内容/講師に米子ビブレの店長山内氏と4人の女性社員をお招きして、仕事に対しての取り組み方などをうかがいました。

米子サティからビブレにかわり今までの販売だけの仕事から、仕入れから販売まですべてをまかされる仕事の形態にかわり、仕事に対して責任ができ、より充実した仕事ができるようになった。

セクハラ等の問題は外国との意識の違いが有り、日本では余り問題にならないのでは?

問題点として、原則として社員は土、日は全員出勤なので子供たちとのコミュニケーションがどうしても少なくなりがちなので、そのあたりが今後の課題として残る。

総務委員会

平成8年11月12日(火) 於：米子食品会館 出席者/14名
内容/1. 役員会報告

2. 新入会員承認の件
3. 親睦ボウリング大会の打ち合わせ
4. その他

広報委員会

平成8年11月6日(水) 於：米子食品会館 出席者/15名
内容/1. 「ハンサム12月号」編集について

2. 経済委員会合同委員会
12月例会打ち合わせ

委員会対抗 ボウリング大会 ＝ 途中経過 ＝

チーム成績(人数点含む)

1. 総務委員会	5,807
2. 広報委員会	5,466
3. 社会文化委員会	5,431
4. 情報メディア	5,410
5. 政治行政委員会	5,375
6. 地域ビジョン	5,142
7. 経営委員会	5,116
8. 経済委員会	4,873
9. 指導力開発委員会	4,364

個人成績(アベレージ)

1. 和田健二	687
2. 音田猛	628
3. 高田孝志	626
4. 高橋洋志	612
5. 多賀彰穂	595
6. 野嶋功	593
7. 河端明彦	588
8. 南順三	583
9. 宮廻裕和	560
10. 大田修一	559

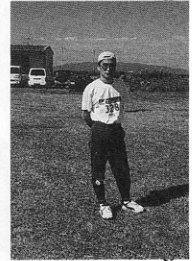
Challenge

米子健康白鳥マラソン大会

ミナミは激疲した。走れメロスには、成れなかったのである。時は10月27日、彦名干拓地にて開催された米子健康白鳥マラソン大会でのことである。

朝7時30分に集合場所へ行くと、トライアスリートを含め多くのマラソン愛好家の皆さんが参集しており、ウォーミングアップに余念がない。常日頃、運動らしき運動をしていない不健康で不健全な私は、ウォーミングアップなんぞして本走までに疲れてしまっただけで元も子もないとばかりに、上下真赤なユニフォームに身を包んだ現役女子高生を目敏くみつけ、この娘について走ろうと決めていた。

笛の合図で一斉にスタートした数百メートルは足取り軽く、若いっていいよな！という面持ちでついて走れたのは、1.5キロまでである。だんだん離され眼前の楽しみが無くなると、思い浮かぶことといえば、チャレンジ精神旺盛な中島太郎氏（10月14日、晴れてご成婚）は、今頃新婚気分に入っているのだろうなと思ってみたり、湯原農園でどの辺だろう、はたまた、声援してくれる人がいれば多少なりとも元気が出るだろうと、他愛もないことである。と、その時、見えました。私に声援を送ってくれている人が色白ポッチ



ヤリ、カメラ片手ににっこり微笑む畑中委員長の姿が。しかし、声援も人と場合によって効果が違うようで、あの笑みに応えるファイトの湧かなかった私は、カメラに向かってVサインをする余裕もなく、よたよたとゴールへたどり着いた次第である。

30半ばを過ぎ、髪は抜けるは、歯も抜ける、階段上がれば蹴躓くような私が、練習せずして走り出しても、体がついていかないのは当然のことである。

日々、健康管理・体力づくりを実践しておられるトライアスリートは勿論のこと、岸本町総合運動公園のコースを難くこなす児童の皆さんにも、敬意を表したい。どうやら私は、ボランティアが向いているようだ。

聞いてごしない Part 10

まあ、聞いてごしない！

高校生になる子供達に言わせれば、私は古物商にもなかなか無い様な「スグエ古い型の超ダサ親父」らしい。

“どこが古いか？”聞くと、感覚が古いと言う。1番は、「門限が、早い（7時）」。2番は、「電話器が、1つしかない。」3番が「外泊の禁止」。4番は、「シャツ出し注意」。5番が「靴のかかと踏みの厳禁」、6番が「最近の歌手や歌を全く知らない。」7番「……」8番「……」等々たくさんあるらしい。

自分でも、決して新しい人間とは思わないがそんなに（スグエとか超とか）が付く程の者ではないと思っている。門限も7時とはいえ、明確な理由があれば許可するし、外泊は高校の禁止事項だから当然。衛星放送もイヤながら去年入れた。また、私独自の感覚かもしれないが、「シャツ出し」や「運動靴のかかと踏み」など見た目からも機能的にも決して良いとは思えない。6番の原因にしたって、仕事や中央会活動を一生懸命すればいたしかたないように思える。（例えテレビを見ても、歌は演歌だと思うが……）

なかでも2番目の電話器の件は、特に評判が悪い。居間にある為、友達と話したりする時、都合が悪いという。私は、家族に聞かせられない様な電話ならするな。と言うし、長電話もご法度である。（私の留守中には、時々しているらしい）仕事ではあるまいし、「電話」という用途を考えれば、1つの家族の中で内緒話や10分や20分にもわたる内容の話しの必要性を全く感じない。

電話と言え、とても嫌に思った事が、2・3度ある。それは、「携帯電話」の使い方である。講演や会議の席で、堂々と電話を使う御仁がいる。確かに電源の切り忘れや緊急の連絡待ち等で「呼び出し音」が鳴るのは、今の時世、仕方ないかと思う。しかし、だからと言って、かかって来た電話をまわりの人に聞こえる程の声で話して良いかと言うと決してそうではない。その場・その場の状況をキチンと把握し、その使い方をあやまれば、せつかくの文明の利器もだいなしである。

こんな私、やっぱり「スグエ古い型の超ダサ親父」でしょうか？
（舌足らず）

12月例会案内

日時 12月16日（日）18：30～（時間厳守）
場所 米子国際ホテル
内容 忘年例会
担当 経済・広報委員会
※出席の有無を12月10日までに返信ハガキにてご回示下さい。

12月役員会報告

12月定例役員会が平成8年12月2日（月）、米子国際ホテルに於いて開催された。
当日の主な議題は、次のとおりです。
(1) 12、1、2月例会開催の件
(2) 厄落としの会開催の件
(3) その他
尚、詳細については、各委員長までご照会下さい。

コピーをして名簿にお貼り下さい



編集後記

この度、パソコンを購入した。インターネット担当の委員会に2年続いていると、どうも取り残されてしまうような気がしたからである。原稿を打とうにもWordに戸惑い、即ワープロで打ち直すようでは熟知するまで時間がかかりそうだ。